

わたしたちの難民問題

2025 vol.26

紛争や迫害を逃れ、家を追われた人が、世界各地に約1億2000万人いるといわれています。
日本にも様々な国から難民が庇護を求めてきています。
難民の現状を知り、私たちにできることは何か、一緒に考えてみませんか。

講演内容

11/26 水
19:00~20:30

『ベトナム難民として日本に暮らして』

グエン フイさん（大阪コラボレーションマネジメント 理事）

最初のインドシナ難民来日から50年。なぜ祖国を離れなければならない、どのように日本にやってきて、いかに難民として生きてきたのか。また、支援団体の通訳やコミュニティのリーダーとしての経験を振り返り、次の世代も含めた難民社会が抱える課題、受け入れる側の日本社会の課題をどのように考えているのか、難民として来日した講師から聞きます。

12/ 3 水
19:00~20:30

『パレスチナ ガザ・西岸地区で人道援助活動』

大西 基弘さん（国境なき医師団 ロジスティシャン）

ガザ紛争の激化から2年、現地の状況は悪化の一途をたどっています。国境なき医師団（MSF）は負傷者や避難民を支援し、医療・人道活動を継続。医師や看護師に加え、多くのロジ担当者も派遣されています。今回は、9月末に帰国されたばかりの大西さんよりパレスチナの様子と人道援助の活動について聞きます。

12/10 水
19:00~20:30

『日本の難民認定の現場 適正な保護のために』

深津 千晴さん（出入国在留管理庁 出入国管理部出入国管理課難民認定室 法務専門官）

補完的保護対象者認定制度を創設するなど大幅な改正となった令和5年の入管法改正。入管法上の難民の定義から、難民認定手続の流れや近年の申請や認定の現状、難民認定制度の透明性・信頼性を向上させるための「難民該当性判断の手引」策定など、難民を適正に保護するための入管庁の取組について聞きます。

12/17 水
19:00~20:30

『再出発する人々とともに シリア帰還民支援』

宮地 佳那子さん（難民を助ける会 シリア難民支援担当）

2011年からの内戦により荒廃したシリア。アサド政権崩壊からの半年で64万人の難民と150万人の国内避難民が帰還し、人々は生活再建に取り組んでいますが、食料、電気、水といった基本的なインフラにも事欠いている状況です。トルコ拠点に支援に取り組んできたNGOスタッフより、国内の現状と課題、緊急に行われた帰還民支援活動について聞きます。

定 員：各回40名
形 式：オンライン
参加費：無料

ご予約 >>>

右記の2次元コードを読み取り、
申し込みフォームよりお申込みください。
（各回の前日17時まで）



<https://x.gd/Pact9>

問合せ

難民事業本部関西支部
神戸YMCA
兵庫県国際交流協会

078-361-1700 kansai@rhq.gr.jp
078-241-7204 houshi@kobeymca.org
078-230-3090 hia-ex-co@net.hyogo-ip.or.jp

主催

（公財）アジア福祉教育財団 難民事業本部・（公財）神戸YMCA・日本国際連合協会兵庫県本部

協力

（公財）兵庫県国際交流協会